

重症患者さんにおける末梢静脈カテーテルによる静脈炎の発生頻度とリスク因子の検討

1. 研究の対象

2018年1月～3月に当院集中治療室で治療を受けられた方

2. 研究目的・方法

静脈カテーテルは入院患者さんのおよそ70%に挿入されているとされ、最も多く行われている医療行為の一つです。カテーテルは血管内に挿入されることから決して侵襲性がゼロの医療行為ではなく、それらによる血栓症、静脈炎、感染症といった合併症により入院期間延長や入院コスト増大などの負の影響をきたすことがあります。しかし、集中治療室における末梢静脈カテーテルによる合併症の発生頻度やそのリスクファクターに関しては明らかになっていません。集中治療患者さんに安心して治療をお受けいただくためにもこれらを明らかにする必要があります。そこで、今回、日本集中治療医学会の承認研究として亀田総合病院を主管施設として全国約20の病院の集中治療室において、末梢静脈カテーテルによる静脈炎の発生頻度とそのリスクファクターの調査を実施することになりました。期間は2018年1月～3月までとなります。この調査は集中治療室に入室中に4時間毎に末梢静脈カテーテルの挿入部位に異常がないかを確認するものであり、本調査のために採血や処置がなされることはありません。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、身長、体重、入室理由、投与されている薬剤情報、挿入されているカテーテルの種類及び挿入場所・挿入部位など

観察項目：カテーテル刺入部の観察を4時間に1回行います

4. 外部への試料・情報の提供

本調査の情報はパスワードで厳重に管理されたインターネット上の専用サイトに患者さんの個人情報を一切、含まない状態で主管施設に提供します。また、薬剤情報に関しては個人情報を含まない状態で印刷物を郵送で提供します。患者さんの個人情報は当院の研究責任者が保管・管理をします。

5. 研究組織

亀田総合病院集中治療科を主管施設として全国約 20 の病院が参加します。

日本集中治療医学会の承認を受けた研究です。（認定番号 22 <http://www.jsicm.org/research/ctg.html>）

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

高知大学医学部附属病院集中治療部 矢田部智昭（当院における研究責任者）

住所：783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮 電話：088-880-2471

研究代表者：

亀田総合病院集中治療科 安田英人